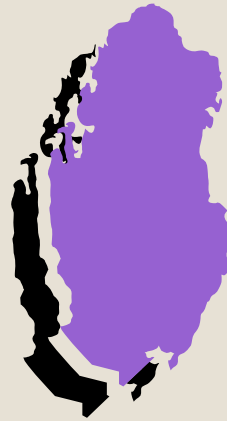


世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 カタール国 



【表紙の写真】

(左上)

伝統的な民族衣装を着たカタールの人々



知多市「カタール友好交流」

(右下)

高層ビルが立ち並ぶドーハのオフィス街



「カタール通信」榎原範久

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜカタール国?

第1章 カタールってどんな国?

＝アラブの小さな大国＝

- 05 カタールってどこ? カタールってどんな国?
- 07 カタール ウソ? ホント? クイズ
- 09 当ててみよう! 何の写真?
- 11 暮らしぶりを比べてみよう
- 13 ちょっとブレイク ～ドーハ日本人学校～

第2章 へえ～! カタールと日本

- 15 カタールと日本のウソ? ホント? クイズ
- 17 比べてみよう! カタールと日本
- 19 フォトギャラリー
- 21 ちょっとブレイク

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

- 23 エネルギーについて考えよう!
- 25 参考資料 主要国のエネルギー政策
- 27 ちょっとブレイク ～文明とエネルギー～

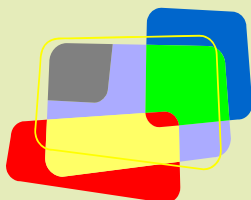
第4章 そして未来へ

- 29 未来を語ろう!

～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

★参考資料★

- 33 目で見るカタール
- 35 カタール地図
- 37 参考文献・データ等の出典
- 37 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい!!つなげていきたい!!
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

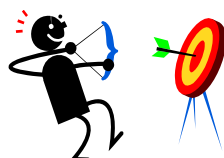
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえるようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、カタルのほんの一面です。本書だけでカタルのすべてがわかるわけではありません。カタルに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（公財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（公財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。（<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html>）

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一コマは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



ちょっとブレイク！一コマです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の提供者です。



なぜカタル国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、**カタル国**のホームシティは**知多市**でした。



愛知万博／カタル館



カタル国

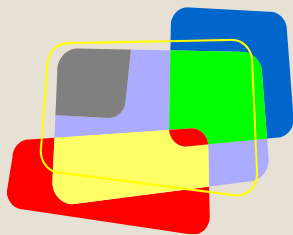
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタル国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トング王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェー王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

カタールってどんな国？

= アラブの小さな大国 =

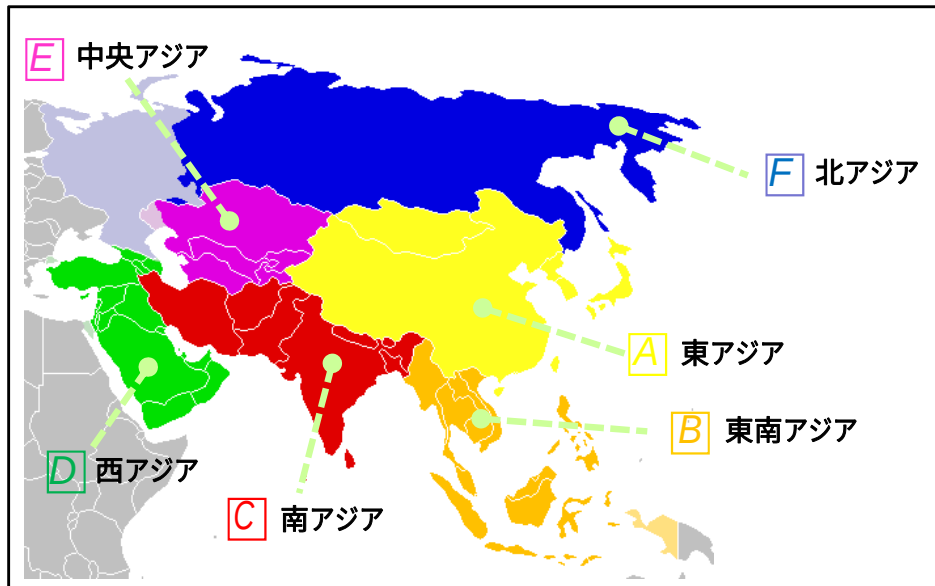


カタールってどこ？カタールってどんな国？



カタールをイメージするところから始めよう！

- ① カタールは私たち日本と同じ「アジア」にある国です。みなさん、知っていましたか？
では、アジア (A～F) のどのあたりにあるのでしょうか？ 次の地図から選んでみましょう。



ウィキペディア

- ② 場所がわかったところで、カタールとはどんな国だと思いますか？
知っていること、想像して思いつくことなどを出し合ってみましょう。



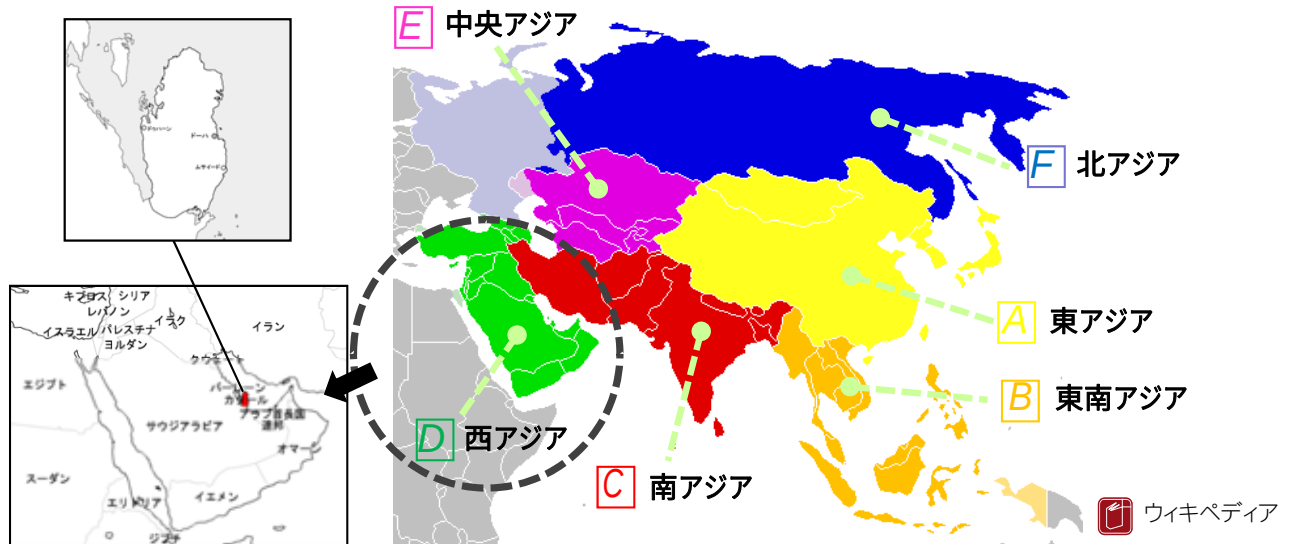
カタール3択基本知識クイズ！！

- ③ カタールの人口はどのくらい？
- ☐ A 東京都 (約1,320万人) と同じくらい
☐ B 鹿児島県 (約170万人) と同じくらい
☐ C 鳥取県 (約60万人) と同じくらい
- ④ カタールの面積は日本のどの地域と同じくらい？
- ☐ A 北海道 ☐ B 九州 ☐ C 秋田県
- ⑤ カタールの人口のうち、カタール人は約何%？
- ☐ A 80% ☐ B 50% ☐ C 20%
- ⑥ 2022年に開催されることになっているイベントは何？
- ☐ A サッカー・ワールドカップ ☐ B 夏季オリンピック ☐ C 冬季オリンピック



1 **D** カタールは西アジアに位置する国です。

西アジアとは、アジア西部を指し、ほぼ中東と同じ領域を指すことが多いです。一般的には、中央アジア及び南アジアより西、地中海より東で、ヨーロッパとはボスポラス海峡、アフリカとはスエズ運河によって隔てられている地域を指します。カタールは、アラビア半島からアラビア湾の方向に北へ突き出している半島部に位置しています。



2 カタールは1971年9月、イギリスとの保護関係から独立したイスラム教を国教とする首長制の独立国家です。カタールの国土の大部分は、平坦な砂地・岩石砂漠で、耕地面積は国土全体の0.6%に過ぎません。気候は典型的な砂漠気候で、高温多湿な夏季(特に7～8月)には最高気温が45度を超えることがあります。11月から4月の気候は比較的温和です。降雨量は非常に少ないです。首都はドーハで、人口の約半数が居住しています。公用語はアラビア語ですが、英語も広く使われています。近年、石油、天然ガス開発などにより経済基盤の強化を図る一方、政治面での民主化推進やアラブ和平にむけての調停役として国際社会での積極的な活動、さらには教育の推進やスポーツの国際大会(サッカー・ワールドカップやオリンピック)の誘致も積極的に進めています。



カタールの国旗

白は平和を、海老茶色はカタールが経験してきた戦争で流した血を表しています。9つのジグザグは、アラビア湾でイギリスと和解した9番目の国であることを示しています。



カタールの勲章

1976年に制定されました。中央にアラビア式のセーフ(刀)が交叉した図にかつてカタールの重要な産業だった真珠採りと漁業のために使われたダウ船、貴重な食料源であったデイツ(ナツメヤシ)の絵が描かれています。

3 **B** 鹿児島県(約170万人)と同じくらい

カタールの人口は170万人(2011年/カタール統計庁)です。今、カタールの人口は驚くべきスピードで増加しています。2000年に約60万人だった人口がわずか10年で3倍弱に増加しています。なお、在留邦人は1,219人(2010年10月現在)です。

4 **C** 秋田県

面積は11,437平方キロメートルで、日本の秋田県くらいの面積です。

5 **C** 20%

カタール人の人口は人口の2割(約30万人程度)と言われています。カタールは国内労働力をインド、パキスタン、イランなどからの外国人労働者に大きく依存しています。政府は、こうした構造からの脱却と人口増加に伴う若年層の雇用機会の確保を狙った政策(例えば、エネルギー・工業分野の国営企業において従業員の50%をカタール人とするなど)を実施しています。

6 **A** サッカー・ワールドカップ

中東での開催は初で、アジアでの開催は2002年日韓大会以来2度目になります。カタールはスポーツにも力を入れており、2006年12月には第15回アジア競技大会を開催、ドーハ中心部に大規模なスポーツ施設を多数整備しています。

カタール ウソ？ホント？クイズ

① クイズを通していろいろな視点からカタールがどんなところか知しましょう。

① カタールは砂漠の国である。そのため、カタールにはツアーガイドが砂漠を案内する「砂漠ツアー」というものがある。



② 「アル・ジャジーラ」(世界的に有名なニュースを中心とする衛星放送局)の本社はカタールにある。



③ 「カタール」とは、「小さな半島」という意味である。



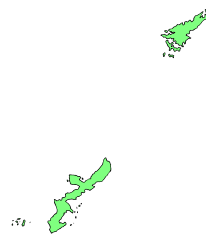
④ カタールの公用語はフランス語である。



⑤ カタールでは、カタール人の教育費はすべて無料である。



⑥ カタールの緯度は沖縄の緯度と同じである。



⑦ カタールのお金持ちの娯楽の一つは鷹狩りである。



⑧ 今エネルギー産業で発展しているカタールは、昔は真珠産業が盛んであった。



⑨ カタールの主な産業は観光である。





1

○
ホント

カタールの国土の大部分は平坦な砂地・岩石砂漠が一面に広がります。耕地面積は国土全体の0.6%に過ぎません。サウジアラビアとの国境沿いに広がる砂漠には、ツアーガイドが四輪駆動車で案内する「砂漠ツアー」があります。野営テントでの食事やサンドスキー、満天の星の下で一泊できるツアーもあり、砂漠を抜けると美しい自然が広がります。



「カタール通信」榊原範久

2

○
ホント

1996年にカタール首長から資金援助を受けてカタールに設立され、アラブの世論形成に大きな影響力を及ぼしている。アル・ジャジーラ本社はカタールのドーハにある。定冠詞である「アル」と、アラビア語で島を意味する「ジャジーラ」を合わせ、アラビア半島を意味するのが一般的である。アル・ジャジーラは自らを「公正で政治的圧力を受けない、中東で唯一の報道機関である」と言っている。アル・ジャジーラの名が広く知られるようになったのは、2001年のアメリカのアフガニスタン侵攻の報道や、アルカイダから送付された、オサマ・ビンラディン容疑者のメッセージ映像を独占放送したり、アフガニスタン国内から戦争実況を中継したりなどの報道活動によるところが大きい。

3

×
ウソ

カタールとは、「滴」を意味するアラビア語の語源から派生した単語であり、その名のとおり、アラビア湾（ペルシア湾）に「水滴」を落としたように、アラビア半島東岸にポツンと突き出した小半島の形をしています。

4

×
ウソ

カタールの公用語はアラビア語ですが、英語も同じように使われています。1971年9月3日にイギリスから独立しました。インドやパキスタン、ネパールなどからの出稼ぎ労働者が多く、基本的には英語で話すことが多いようです。

5

○
ホント

カタールの教育制度は、日本と同じで6-3-3-4制で、教育費はカタール人はすべて無料です。カタールは教育に力を入れ、日本の教育にも関心深く「公文式」を取り入れている学校もあります。



勉強する男子学生
(アハナフ・ビン・カイス男子中学校)

外務省HP

6

○
ホント

カタールの緯度は日本では沖縄に相当します。アラビア半島沿岸部の典型的な砂漠気候で、高温多湿な夏季（特に7～8月）には最高気温が45度を超えることがあります。11月～4月の気候は比較的温和です。降雨量は非常に少ないですが、10月～3月にかけては雨が降ることがあります。

7

○
ホント

鷹狩りは中央アジアまたはモンゴル高原が発祥地とされています。カタールなど湾岸諸国では王侯貴族や一部の富豪者の娯楽として今も盛んに行われています。

8

○
ホント

カタールの真珠産業は近年までは重要な産業でした。しかし、1900年代以降、値段の安い日本製の養殖真珠が世界に出回るようになり、値段の高いカタール産の天然真珠は売れなくなり、真珠採りをする人は減ってしまい、現在では真珠産業はほとんどなくなってしまいました。ちなみに首都ドーハの海岸線沿いには、真珠をモチーフにした巨大なモニュメントがあり、昔の真珠産業の伝統を今に伝えています。



巨大な真珠のモニュメント

ドーハ日本人学校/榊原範久

9

×
ウソ

カタールは歴史の浅い小さな国ですが、先進的施設や伝統的な市場、砂漠そして海と観光地としての見どころがあります。しかし観光産業で成り立っているとは言い難く、石油・天然ガス資源といったエネルギー分野の産業に大きく依存しています。

当ててみよう！何の写真？



次の写真は、カタールの写真です。
写真からカタールがどんな国か、人々がどんな暮らしをしているか想像してみましょう。

A



B



C



D



E



F



G



H





A **B** **C** は、カタール人の服装などです。

A 女性の衣装で、女性は綿の「ジェラビア」という丈の長いドレスを着ます。外出するときには、その上に絹か綿の「アバヤ」と言うマントを羽織ります。また、少女は「ブクヌク」というベールをかぶります。その下には「スルフル」というだぶだぶのズボンをはきます。これらの衣類の首、手首、袖などには美しい刺繍が施されています。イスラム教の戒律は厳しく、人前ではできるだけ肌を露出しないため、顔には「ヒジャブ」というベールで頭から顔を覆い、「シエラ」という黒いマスクで顔を覆う女性もいます。高温の乾燥地帯では、体を覆う服装は合理的とも言えます。

B 男性の衣装で、男性は「ソーブ」という地面まで届くほどの長いシャツを着ます。ソーブの下に、白い綿の「スルフル」をはきます。頭には「タキーヤ」という白いネットの帽子をかぶり、その上に「ゴドラ」と言う四角い布をのせ、「エカール」という二重の輪で固定します。子どもの頃は、普段、タキーヤだけかぶりますが、特別な日になりますと、その上にゴドラとエカールをのせます。

C 女性の手につけているのは、「ヘンナ」と呼ばれるイスラム社会やインドで親しまれている染料です。
ハーブの一種であるヘンナという植物の葉を乾燥させ粉にしたものを水などで溶いたものが、古代から髪・眉・爪・手足などの染色やペイントに使用されており、エジプトのクレオパトラもヘンナで爪などを染めて現代でいうマニキュア代わりとして使用していたと言われます。
女性にとっては人生の節目に当たる大事な行事で使われ、特に結婚式にはなくてはならないものです。また、染料としての役割に加えて、魔除けとしての意味を持つと言われています。



D **E** は、カタールの街や建物の写真です。

D ドーハ市内を遠くから見た街の姿です。
近代的なビルが立ち並び、その発展の様子が分かります。



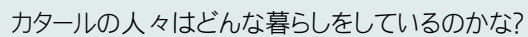
E シェラトンホテルです。
中東は派手なデザインを好み、地震もないのでデザインが独特なものが多いのが特徴です。

F 工業都市の写真です。
カタールの北部には、天然ガス産業の中心となる大きな工業都市、ラスラファンがあります。カタールの中でもっとも大きいガス田が首都ドーハから200km北にあります。

G LNGタンカーの写真です。
LNGとは、液化天然ガスのことで、天然ガスを冷却し液化した無色透明の液体です。愛知県知多市には、カタール北部の工業都市ラスラファンにある積み出し港から約1万2,000kmの航路を、約半月かけてやってきます。カタールと中部電力のつながりは深く、中部電力が発電する電力の約2割がカタール産のLNGを燃料として発電されています。

H カタールの砂漠の写真です。
国土の大半は砂漠で、かつては国民の大部分が遊牧民でした。今は石油や天然ガスといった資源のおかげでカタール国民の暮らしは豊かになっています。

暮らしぶりを比べてみよう



あなたの普通の一日の生活を思い出して書き出し、カタールの子供（モハメド・オマル君＝14歳・男子中学生）と比べてみましょう。

また、あなたのお父さんの一日の生活をお父さんと一緒に書き出し、カタルの大人(モハメド・ラザクさん=42歳・公務員)と比べてみましょう。

【あなたの一日の生活】

時間	行動

【あなたのお父さんの一日の生活】

時間	行動

○学校の制度

小学校 年、中学校 年(義務教育 年)

高校 年、大学 年

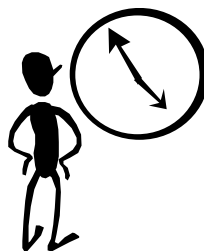
学校の始業、終業時間は？

○食事

どんなものを、だれと、どんなふうに食べますか？

○一日の習慣

あなたが毎日習慣にしていることは？



- 1 あなたの生活とモハメド・オマル君の生活（次ページ）を比べて、似ているところ、違うところをまとめてみよう。
 - 2 あなたのお父さんの生活とモハメド・ラザクさんの生活を比べて、似ているところ、違うところをまとめてみよう。
 - 3 カタール人の生活でうらやましく思えるところがありますか？
 - 4 日本人の生活をうらやまだろうと思うところはどこですか？
- 





【モハメド・オマル君の一日の生活】

時間	行動
6:00	起きる 朝食・登校
7:00	学校が始まる
13:00	学校が終わる
14:00	家で昼食
15:00	休憩・宿題
16:00	友達と遊び(テレビゲーム等)
20:00	夕食
21:00	友達との遊びや買い物
22:00	寝る

【モハメド・ラザクさんの一日の生活】

時間	行動
6:00	起きる 朝食・出勤
7:00	仕事が始まる
13:00	仕事を中断し帰宅する
14:00	家で昼食
15:00	昼寝
16:00	出勤・仕事開始
18:00	仕事終了・帰宅
20:00	夕食
21:00	家族との団らん・趣味の時間
0:00	寝る

○学校の制度

- ・学校制度：6－3－3制(小学校6年、中学校3年、高校3年)
- ・義務教育期間：1学年～12学年(留年制あり)
- ・学校年度：9月1日～8月31日
- ・学期制：1学期(9月～12月)、2学期(1月～3月)、3学期(4月～6月)
- ・その他：

公立校は男女別学で、カタール人が修学する場合は、授業料は無料である。外国人の場合は公立・私立ともに授業料が必要。

学校の授業は朝の7時頃に始まり、正午頃に終わるところがほとんどであるため、昼食はとらないのが普通である。学校への軽食の持参は自由であり、学校内でスナック菓子等の購入も可能である。

○食事

昼食は学校が終わってから家に帰り、家族といっしょに食べる。主にケバブやシャウルマなどの肉料理を食べている。

○一日の習慣

カタールはイスラム教を国教としているので、一日に5回(日の出前、正午、午後、日没、睡眠前の決まった時間)、サウジアラビアのメッカ(イスラム教の聖地)に向かってお祈りする。

「イスラム教とカタール」

カタールはイスラム教を国教としており、95%の国民がその信者です。

イスラム教は、キリスト教、仏教とともに世界三大宗教と呼ばれており、世界中に13億人以上の信者がいるとされます。イスラム教には様々な宗派が存在し、スンニ派、シーア派などが代表的なもので、大部分のカタール人はスンニ派に属しています。

イスラム教の信者のことを「ムスリム」と言い、コーランという經典の教えを守って生活しています。イスラム教はコーランの教えに基づく戒律(宗教上のきまり)が厳しいことでも有名です。

サウジアラビアのメッカ(イスラム教の聖地)に向かってお祈りする「サラール」は私たち日本人にもよく知られています。カタール国内にも2,000ほどのモスクがあると言われています。

太陰暦によって定められたヒジュラ暦の第9月をラマダンと呼び、断食(サウム)を行い、日の出から日没まで食事や水をとりません。

また、金曜日が休日となり日曜日は企業も役所も仕事をしています。

金曜日はほとんどの店が閉まります。ショッピングモールも夕方になるまで店があかないこともあります。

またイスラム教徒は豚肉類を食べず、アルコールもとらないことを原則としています。カタール国内においては、一部のホテルをのぞき、アルコール類は提供されません。



モスクでお祈りする
イスラム教徒



ちょっとブレイク ～ドーハ日本人学校～



世界初！再開した日本人学校 ～特色ある日本人学校を目指して～

世界には80以上の日本人学校があります。日本政府は義務教育の機会均等を掲げ、世界各国で働く日本人子弟にも日本式の教育を施すことを目的として日本人学校を設立しています。

ドーハ日本人学校は2009年の4月に開校しましたが、実は新規の開校ではなく、2001年までドーハ日本人学校はありました。当時カタールの在留邦人が減り、日本人学校は閉校しました。今まで一度閉校した日本人学校が再開したことは世界でも例がありませんでした。しかし、その後、カタールの経済成長とともに、再び在留邦人が急増し、日本人会の強い支えがあり、再開の運びとなったのです。



ドーハ日本人学校

ドーハ日本人学校はドーハの中心部から車で西へ30分ほどのところに位置し、周辺はエデュケーションエリアと呼ばれ、たくさんの学校があります。校舎はカタール政府から無償供与されています。校舎の玄関にひときわ目立つ看板は、カタールと友好都市である知多市から寄贈されたものです。



愛知県知多市から贈られた
立派な看板

児童生徒は増えたとはいえ、児童生徒数34人（平成23年7月現在）と小規模校には変わりありません。教職員は全員で11人です。少人数だからこそ、子どもたち一人一人に焦点をあて行う「個に応じた指導」を柱として、確かな学力と豊かな心を持ったたくましい子どもの育成を目指しています。

ドーハ日本人学校の学校行事

ドーハ日本人学校では、子どもたちに日本の教育課程に基づく知識だけでなく、様々な行事を通して日本の基本的な生活文化についての指導も行っています。



運動会で披露したソーラン節



全校児童生徒で行った書き初め会



毎週がんばっている水泳の授業



カタールの砂漠で行った
マラソン大会



今までの学習の成果を披露した
学習発表会

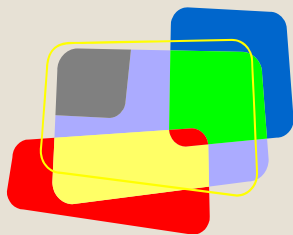


スクールキャンプで行った潮干狩り



第2章

へえ～！カタールと日本



カタールと日本のウソ？ホント？クイズ

❓ 似ている?! 違う?! カタールと日本!

① カタールにいる日本人は、ここ10年ほどで10倍以上に増えた。



② カタールは親日的な国といえる。



③ カタールにとって、日本は最大の輸出相手国である。



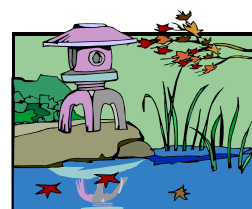
④ カタールの学校は日本のように男女共学が多い。



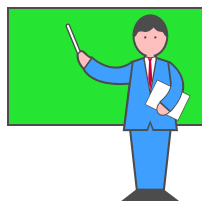
⑤ カタールでも日本語のテレビ番組を見ることができる。



⑥ カタール人は日本文化に対する関心が高い。



⑦ カタールは日本の教育に強い関心があり、日本の教育を取り入れた学校もある。



⑧ 日本人は月の表面の模様を「餅をつくウサギ」と表現しますが、カタール人も同じ表現を使う。



⑨ 「ドーハの悲劇」とは、サッカー日本代表がカタール代表に敗れ、アメリカのサッカー・ワールドカップの本選(1994年)に出場することができなかったできごとを指す。





- 1 **○
ホント** カタールには、2003年ごろは日本人は100人ほどでしたが、2010年10月時点で1,219人が暮らしています。カタールの経済発展に伴って日系企業の活動も活発になり、駐在員などが増えました。在留邦人は一般企業の駐在員とその家族がほとんどを占め、その他には政府関係機関に勤める人などです。
- 2 **○
ホント** カタールは非常に親日的な国です。
世界有数の産ガス国となったカタールですが、現在のカタールの発展の基礎をつくったのは日本の中部電力です。中部電力とカタールのつながりはとても深く、1980年代終盤より、当時はまだほとんど無名であったカタールで初となる液化天然ガス (LNG) プロジェクトは、幾多の難局に遭遇しましたが、カタールの天然ガスの将来性を信じて、中部電力が最初から一貫してプロジェクトを支えてきたのです。このことが年配の方々を中心とした多くのカタール人が日本に好意的である由縁であると言われています。
このほか、同じ有色人種としての親近感と、優秀な工業製品を生み出す日本人の頭の良さに敬意を抱いているとも言われています。
- 3 **○
ホント** カタールと日本は経済面でのつながりは非常に深いものとなっています。カタールの貿易収支は、輸出面では天然ガス及び石油化学事業関連製品が大部分を占めています。輸入面では、自動車を中心とする輸送機械、電気機器が主な輸入品目です。日本は、カタールにとって輸出先としては第1位、輸入先としては第5位となっています。
- 4 **×
ウソ** カタールはイスラム教を国教としており、イスラム教の習慣で男女別学です。男子校は男性教師、女子高は女性教師が教えています。
- 5 **×
ウソ** カタールでは、アラビア語に翻訳された日本のアニメであればたくさん放映されています。「キャプテン翼」、「ポケモン」、「タイガーマスク」など多くのアニメが放送されています。
- 6 **○
ホント** カタール人では、女子学生を中心にテレビ番組やアニメ、「嵐」などのアイドルに対する関心が高く、インターネットなどで視聴しています。和太鼓などへの関心も高く、インターネットで日本語を独学する大学生が多いとも言われています。
 (独) 経済産業研究所「カタールの現状と日本の今後の貢献」
- 7 **○
ホント** カタールでは、「伝統と近代化の融合を成し遂げ、勤勉な国民を生んだ国」として日本の教育制度への関心が強いです。愛知県知多市にある小学校などとも交流実績のあるカタールのオマル・ビン・ハッターブ男子学校では、日本の「公文式教育」が行われています。
- 8 **×
ウソ** カタール人たちは、月の模様を「吠えるライオン」と表現します。表現の仕方は国によって様々であり、他に例を挙げると、アメリカでは「女性の横顔」、中国では「葉草をつくウサギ」、インドネシアでは「編み物をする女性」などと表現します。どの国にも個性があって面白いですね。
- 9 **×
ウソ** 日本と戦ったのはイラクで、試合が行われた会場がカタールのドーハだったため、「ドーハの悲劇」と呼ばれています。1993年10月28日、ドーハのアルアハリスタジアムで行われた日本代表とイラク代表のサッカーの国際試合 (1994年アメリカワールドカップアジア地区最終予選の日本代表最終戦) において、試合終了間際のロスタイムにイラク代表の同点ゴールが入り、日本の予選敗退が決まったことを指す日本での通称。

比べてみよう！カタールと日本

 カタールと日本、意外とつながっているんです！

カタールと日本を比べてみたら？ ABCどれが正しいと思う？

① 小学校で学ぶ子どもは何%？

日本 100%

カタール

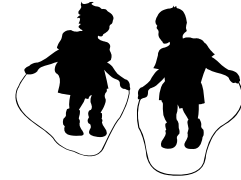
☐ A 100%

☐ B 95%

☐ C 80%



UNICEF「世界子供白書2011」



② カタール→日本、日本→カタール、どちらの貿易額が多い？

☐ A カタール→日本 (対日輸出) < カタール←日本 (対日輸入)

☐ B カタール→日本 カタール←日本

☐ C カタール→日本 > カタール←日本



外務省「政府開発援助 (ODA) 国別データブック2010」

③ カタールは2022年のサッカーワールドカップの開催地と決まっているが、2002年の日韓大会で、開催地の日本とともにアジア代表として出場していないのは次のうちどの国？

☐ A 中国

☐ B カタール

☐ C サウジアラビア



④ 女子は1人あたり平均何人の子どもを産む？

日本 1.3人

カタール

☐ A 7.1人

☐ B 2.4人

☐ C 1.3人



WHO「World Health Statistics 2011 (世界保健統計2011)」

⑤ 日本にカタール人は何人いる？ カタールに日本人は何人いる？

カタールにいる日本人 1,219人 (2010年10月)

日本にいるカタール人

☐ A 14人

☐ B 140人

☐ C 1,400人

⑥ 日本で多い外国人はどここの国の人？ カタールではどう？

日本で多い外国人

1. 中国 (約67.5万人:32.5%) 2. 韓国・朝鮮 (約54.5万人:26.2%) 3. ブラジル (約21万人:10.1%)

カタールで一番多い外国人

☐ A インド人

☐ B 日本人

☐ C 中国人



2011年法務省統計



1 **B** 95%

初等教育の就学率が問題です。指標は「初等教育純就学率」：初等教育就学年齢の子どもで、初等学校に就学する子どもの数が、その年齢の子どもの総人口に占める割合。(2005年－2009年)

2 **C** カタール→日本 > カタール←日本

貿易額は、対日輸出(カタールから日本への輸送)が1,483,205百万円、対日輸入(日本からカタールへの輸送)が152,553百万円です(2009年)。カタールは、日本との貿易では、輸出が輸入の約10倍となっています。日本への主な輸出品目は、石油、LNG、石油化学製品などとなっています。

3 **B** カタール

2002年の日韓大会は、開催国代表として日本と韓国が、アジア予選を勝ち抜いたサウジアラビアと中国(初出場)が出場した。カタールはサッカー・ワールドカップ本戦にはまだ出場したことはありません。

4 **B** 2.4人

カタールの女性が1人当たり産む子どもの数(2009年時点)は、193か国中92番目です。日本は182位の1.3人です。7.1人は最も多いニジェールの人数です。世界平均は2.5人となっています。

5 **A** 14人(2010年)

日本に在留しているカタール人は、在留資格(在留目的)別では、家族滞在5人、留学と技術が各3人、企業内転勤が2人、日本人配偶者1人です。男女別では男10人、女4人で、25～29歳が6人と最も多く、次いで0～4歳の4人、15～19歳及び20～24歳、35～39歳、55～59歳が各1人となっています。都道府県別では、東京都に7人、愛知県に3人、宮城県、長野県、京都府、大阪府に各1人となっています。

6 **A** インド人

カタールの人口170万人のうち、カタール人は約25万人で、インド人及びネパール人は各40万人(各約24%)いると言われています。インドやネパールなどからの外国人労働者急増が背景にあり、男女比は3:1であるとも言われています。

カタールの食文化

砂漠の国からスパイシーな料理を想像する人も多いのではないのでしょうか。アラビア料理には、多くのスパイスが使われます。アラビアの伝統料理である炊き込みご飯とスープにも、ターメリック、シナモン、ディールなどたくさんのスパイスが使われました。

アラビアの伝統料理では、遊牧民が簡単に持ち運ぶことのできたコメやヤシの実、一緒に遊牧した羊やラクダの肉などが使われました。また、昼食を1日の食事のメインとし、もっとも暑い時間にたっぷり昼休みを取っていました。現在のカタールでは、このような伝統料理に、インドやレバノンなど各国のスパイスが加わり、新たな食文化が生まれています。首都ドーハなどでは、イタリアン、フレンチ、中華料理、日本料理など、世界の料理を味わうことができます。

また、最近ではジュースバーやスイーツショップがとても人気です。飲酒が禁じられているイスラム教徒の人たちの楽しみとなっているようです。





フォトギャラリー

～街並み編～



首都ドーハの新市街には派手なデザインの建物が立ち並びます。



首都ドーハの旧市街には古い街並みが広がります。



ほかにもこんな教育施設や文化施設があります。



イスラミックアートミュージアム
(アラビア半島の宝を集めた美術館)

Qatar National Convention center
(カタール国際会議場)

アル・シャハニアにあるオリックスファーム
(アラビアン・オリックスはカタールの国獣)





フォトギャラリー

～街並み編 (つづき)～



アルホール (Al Kor) の街路



アル・ズバラの砦

～お店編～



日本でも馴染みのあるお店もあります。



マクドナルド



ダイソー



スーク
(昔の中東の商店街を再現したもの。
アラビア語で「市場」、「商店街」。)

～食べ物編～



他のアラビア半島諸国と同じように遊牧民の食べ物です。



えび入り炊き込みご飯



アラビアンコーヒー



市場の野菜





ちょっとブレイク



～ 愛知万博をきっかけに深まる国際交流 ～

はじめは愛知万博

カタールと知多市の友好交流は、2005年の愛知万博がきっかけでした。カタールが、知多市の「一市町村一國フレンドシップ事業」の相手国となったからです。

これは、知多市が中部圏のエネルギー基地といわれており、天然ガス、石油の生産国、輸入先として関わりの深い国でもあるカタールをマッチング相手国として希望していたことが認められたもので、2003年9月に、県のマッチング委員会で決定されました。

この決定を受けて、カタールと知多市の友好交流は始まりました。2004年10月、当時のカタールの第2副首相が知多市を訪問され、翌年1月には、知多市から副首相を表敬訪問しました。

こうした相互の交流を経て、2005年3月から9月までの愛知万博期間にはカタールが主催する「ナショナルデー」への参加協力や、知多市での歓迎レセプションの開催など積極的な交流を深めることができました。

こうして2007年2月、市長、議長による表敬訪問団がカタールを表敬訪問し、同国のカタール・日本友好協会間に「友好を誓う覚書」を締結しました。

これ以降、同覚書の趣旨に則って、知多市からカタールへの表敬訪問や、市民による友好交流団の訪問などを通じて、日本や知多市の魅力をカタールで伝え、また、カタールの歴史、文化、芸術などを知多市カタール友好交流会が中心となり、様々なイベントの場で紹介しています。



カタールナショナルデー 愛知万博



カタール文化芸術遺産省表敬訪問

深まる交流

2010年9月の12日間、知多市と知多市カタール友好交流会の主催により、知多市制40周年を記念して「すばらしき出逢いの国 カタール国展」が開催されました。

展示会には、延べ2,700人以上の来場者がありカタールの魅力と知多市との交流の実績が紹介されました。会期中の特別イベントでは、カタールの伝統的な織物と知多市の伝統的な木綿織りとの共演による文化交流も実現しました。

このほか、市長や議長などがカタールを数回にわたって一層の交流推進を確認したほか、カタールの生活や文化を理解する講座の開催など、愛知万博をきっかけに始まった交流はますます活発に広がっています。

カタールの学校と知多市内の旭北小学校との交流も続いています。カタール側のドーハ日本人学校とアル・バヤーン女子学校生徒たちと、旭北小学校の生徒たちの互いの会場を中継して映像をスクリーンに映しながら交流を行うWEB交流が実施されています。

このWEB交流では、日本側が日本の食事、三英傑を始めとする歴史上の人物、お手玉やけん玉といった遊びを紹介したり、カタール側は、カタールの代表的な踊りを披露するなど、遠く離れた土地であっても、情報技術によって互いをより身近に感じることのできる交流とするなど工夫されています。

愛知万博から始まった国際交流の今後の発展にますます期待が高まります。



カタール国展

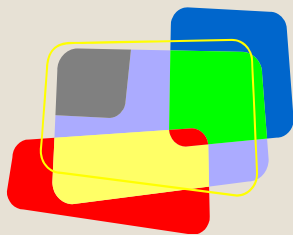


WEB交流の様子



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



エネルギーについて考えよう！



カタールは世界第3位の天然ガス埋蔵量を有する資源国です。

ここでは、エネルギーに焦点を当て、私たちが暮らしの中で使っている電気やガスなどに必要なエネルギー資源について、考えてみよう。

東日本大震災では、電力・石油・ガスといったエネルギーの供給に混乱が生じ、日本のエネルギーシステムが抱える脆さが明らかになりました。日本にはどんなエネルギー資源があるのでしょうか？ また、海外にどれくらい頼っているのでしょうか？

- 1 エネルギー資源にはどんなものがあるか、話し合ってみよう。
- 2 日本国内で産出されるエネルギー資源はどのくらいあるか、話し合ってみよう。
- 3 では、足りないエネルギー資源を日本はどうしているのか、話し合ってみましょう。
- 4 エネルギーは無限にあるものなのでしょうか。
また、地球にはどんなエネルギー問題があるのか、話し合ってみましょう。



世界のエネルギー資源確認埋蔵量

- 石油、LNG（液化天然ガス）、石炭可採年数
＝確認可採埋蔵量/年生産量
- ウラン可採年数
＝確認可採埋蔵量/2006年必要量
【原子力発電実績（2,675TWh）に基づく】
- 高速炉サイクルの実用化による
プルトニウム利用によりウランの利用年数は約2570年になると算定されている。



BP統計2009

OECD/NEA-IAEA「URANIUM2007」

<電気事業連合会「原子力・エネルギー」図面集2010年（改訂版）>



①私たちの暮らしを支えるエネルギー

現在の私たちのくらしや社会は、エネルギーの消費によって成り立っています。日常生活に欠かすことのできない電気、ガス、水道はもちろん、現代社会の基礎となっている運輸、通信などもすべてエネルギーを利用しています。また、私たちの目に見えないところでも、多くのエネルギーが消費されており、農産物、食品、衣服など、あらゆる製品はその生産過程においてエネルギーを利用しており、エネルギーが私たちのくらしを支えています。このうち、私たちのくらしや生産の現場で電気、ガス、ガソリン、灯油など直接的に消費されているエネルギー（直接エネルギー）だけでなく、私たちが購入する食料、衣服やさまざまな製品の製造工程に用いられる原材料生産や製造、加工、輸送などに間接的に消費されているエネルギー（間接エネルギー）もあります。

エネルギーのもとになるエネルギー資源は、大きく「化石燃料」と、「非化石エネルギー」に分けられます。

- 「化石燃料」：石炭、石油、天然ガス、LPガスなど古代地質時代の動植物の死骸が化石化し、燃料となったもの。
- 「非化石エネルギー」：原子力エネルギーや、太陽光、風力等の再生可能エネルギーなど

②③海外に頼る日本のエネルギー

日本はエネルギー資源に乏しく、そのほとんどを海外からの輸入に頼っています。用途の広い石油・LPガスは中東地域を中心に、天然ガスは東南アジア、オーストラリア、中東等から、石炭はオーストラリア等からほぼ全量を輸入しています。

一方、日本国内で産出される「国産エネルギー」は、水力、地熱、風力や若干の天然ガス等のみで、日本が必要とするエネルギーの4%（2008年）にすぎません。原子力発電に必要なウランも海外から輸入されていますが、燃料のエネルギー密度が高く備蓄が容易であること、使用済燃料を再処理することで資源燃料として再利用できること等から、資源依存度が低い「準国産エネルギー」と位置づけられています。原子力エネルギーを含めたエネルギー自給率（エネルギー供給に占める国産エネルギーの割合）は18%（2008年）でした。

④私たちの直面しているエネルギー問題

現在、世界全体で使っているエネルギーのうち、約9割は石油や石炭、天然ガス、LPガスといった化石燃料ですが、埋蔵量には限りがありますので、常にその安定供給に留意する必要があります。

石油の可採年数：45.7年（2009年末時点）

天然ガスの可採年数：63年（2009年末時点）

石炭の可採年数：119年（BP統計2010年版）

※可採年数（可採埋蔵量／年産量）

また、化石燃料の燃焼時には地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）やその他の酸化ガスが排出され、地球環境への影響が指摘されていることから、環境問題に配慮したエネルギーの利用が求められています。



LNG（液化天然ガス：天然ガスを冷却し液化した無色透明の液体）を巡る世界の状況

世界のLNG需要の中心は、長年にわたり天然ガス供給のほぼ全量を輸入に依存する日本・韓国・台湾の3カ国・地域が中心でしたが、近年、その状況に変化が出てきました。

アメリカでは『シェールガス革命』と呼ばれる技術革新により、天然ガスの国内供給が増加していますが、その他の世界各地（中国やインドなどアジア地域、フランスやイタリア、東欧諸国など欧州、UAEやオマーンなど中東地域）ではLNGの需要が増加しています。

一方、カタールでは年産7,700万トンの大型液化設備が完成するなど、現在の需要量に対しては十分な供給量が存在します。アジア太平洋市場では、オーストラリアやインドネシア、パプアニューギニアで多くの新規LNGプロジェクトが進められています。

アメリカやカナダでは、地域内の天然ガス需給緩和を背景に、LNG需要の旺盛なアジアや欧州向けの輸出計画が立案されており、LNGの物流に変化が生じる可能性があります。

ロシアは、アメリカと並ぶ天然ガスの大生産国です。ロシアは従来、欧州向けにパイプラインを用いて天然ガスを輸出していますが、しばしば、パイプラインの通過国と紛争が生じています。このため、LNGを含む天然ガス輸出の選択肢多様化を現在検討しています。また、ロシアは、欧州の天然ガス需要が伸び悩んでいることから、LNG輸出による新規販路の拡大を目指しています。





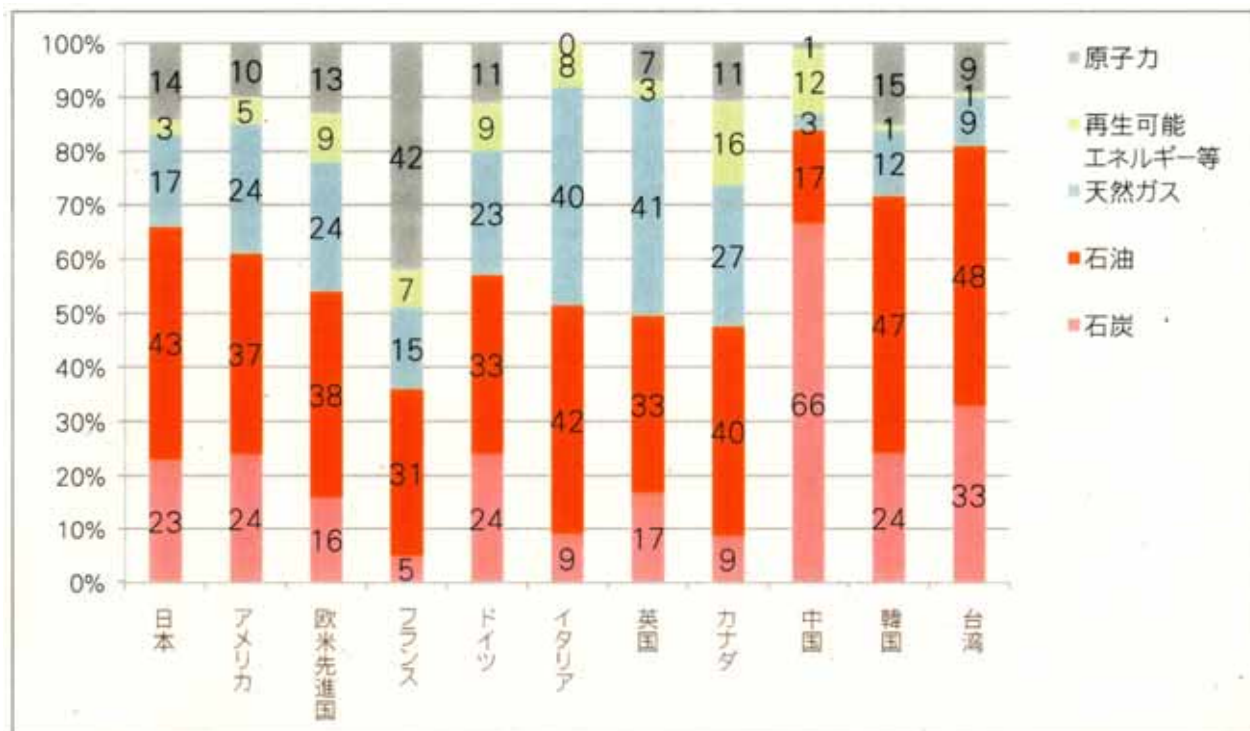
参考資料

主要国のエネルギー政策

主要な供給源

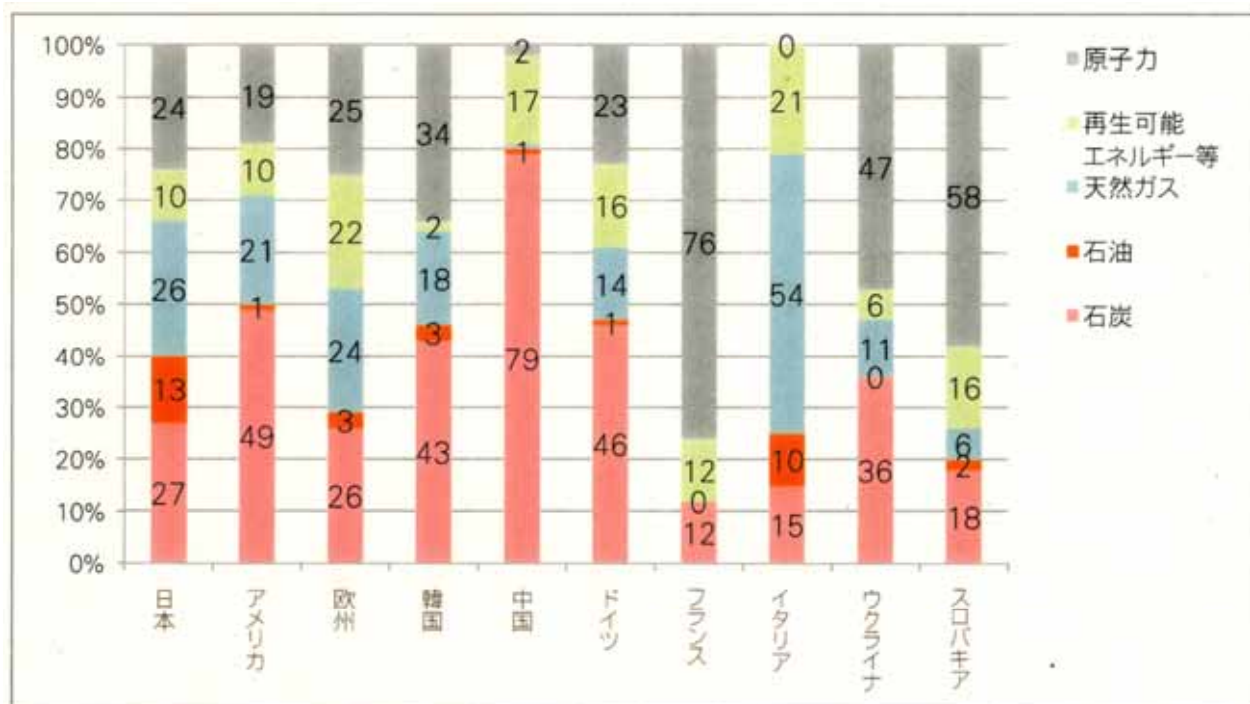
ここでは、欧米やアジアなど主要国の一次エネルギー構成比率と電源別電力供給構成比率、エネルギー自給率を見てみましょう。

一次エネルギー構成（2008年実績）では、日本と欧州先進国全体、米国、韓国は類似していることが分かります。原子力立国フランスを除き、ほとんどの国において化石燃料依存度は80%程度以上となっています。



一次エネルギー構成比率の国際比較（2008年実績）

電源別電力供給構成では、各国の供給安定性・環境適合性・経済効率性が色濃く反映されています。エネルギー自給率の低い国、供給リスクの高い国、エネルギー需要の急増が見込まれる国は、原子力を戦略上重要なオプションと位置づけている傾向にあります。



電源別電力供給構成の比較



参考資料

主要国のエネルギー政策

ここでは、アメリカ、フランス、ドイツ、イタリア、中国の各国のエネルギー政策について見てみましょう。特に、再生可能エネルギー政策、原子力政策、東日本大震災後にどのような政策の変化が表れてきたのか見てみましょう。

アメリカ



- ①オバマ政権では、特に電子力発電やクリーンエネルギーを重視。2035年までに米国電力の80%をクリーンエネルギー由来とする等の目標。
〔グリーン・ニューディール政策〕省エネ、再生可能エネルギーの推進によりエネルギー安全保障を強化。
温室効果ガス排出量を国内法の成立を前提に2020年までに2005年比17%減とする目標を提示 (COP15)。
- ②震災後の主な動き：国内の全原発の安全規制を再評価するためのタスクフォースを設置、二酸化炭素を排出しない原子力発電は重要であることを表明。(オバマ大統領)

フランス



- ①2050年までに1990年比で温暖化ガス排出量を75%削減するという長期目標を設定。
〔エネルギー政策指針〕(ア) エネルギー自給と供給保障、(イ) 割安で競争力のあるエネルギー価格、(ウ) 地球温暖化対策、(エ) 全国民に対する平等なエネルギー供給
- ②震災後の主な動き：電源喪失、冷却機能喪失に着眼した安全性の検討を行い、検討結果を本年末目途に発表することを指示 (フィヨン首相)、温室効果ガス削減のためには、原子力発電が必要不可欠であると発言 (サルコジ大統領)。

ドイツ



- ①電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合を2020年35%に拡大することを含む「エネルギー・コンセプト」を公表。
〔基本方針〕(ア) 安定供給の確保、(イ) 自由競争による適切なエネルギー価格の確保、(ウ) 環境問題への取り組み
- ②震災後の主な動き：脱原発を規定する原子力基本法の改正及び再生可能エネルギーの促進を規定する法律等10本の法案を、閣議決定 (6月6日)

イタリア



- ①国内に資源が乏しくその大部分を輸入に依存。2010年6月発表の国家再生可能エネルギー計画によると、再生可能エネルギー電力の割合を2020年までに約26%とする計画。
〔第4次国家エネルギー計画〕
(ア) 省エネルギーの促進、(イ) 環境の保全、(ウ) 国内エネルギー資源の開発、(エ) エネルギー資源の多様化、(オ) エネルギー価格引下げによる産業の競争力向上
- ②震災後の主な動き：原子力エネルギー再導入に関する法案が、国民投票の結果、廃案。

中国



- ①1949年の建国以来、エネルギー自給率100%を目標に掲げ、エネルギー産業を育成。
〔第11次5カ年計画 (2006-2010)〕
(ア) 省エネルギーの優先、(イ) 国産エネルギーに立脚、(ウ) 石炭資源を基礎、(エ) エネルギー源の多様化、(オ) 需給構造の最適化、(カ) 国際協力の推進、(キ) 安定的。経済的・クリーン・安全なエネルギー供給体制の構築
- ②震災後の主な動き：新規建設計画の審査を一時中止、中国内のすべての原子力発電施設に対する安全検査を開始、運転中施設に対する安全強化を指示 (温首相)。原発は依然として重要な選択肢の一つ。



ちょっとブレイク ～文明とエネルギー～



私たちのくらしや社会に必要な不可欠なエネルギーと人類や文明との関わりの変遷を、歴史を遡ってみてみましょう。



①「火」の発見

人類が初めてエネルギーを利用するようになったのは約50万年前の「火」の発見からでした。最初はまきを燃やし暖房や料理に使い、やがて土器などの新しい道具づくりに利用するようになりました。火の利用は、人類が文明を発展させる出発点になりました。



②農業の始まりとエネルギー

今から約1万年前になると、人間は農耕や牧畜を始めるようになり、牛馬の力を耕作用動力源として利用するようになりました。さらに風力や水力など自然のエネルギーもさまざまな分野で活用する工夫が重ねられました。



③産業革命を支えた石炭

16世紀に入ると、それまでの木炭に代わり石炭が熱エネルギー源として利用されるようになりました。その後、ワットが1765年に蒸気機関を発明し、工場での動力源のほか、蒸気機関車、蒸気船などさまざまな分野に応用されるようになりました。この発明により、従来の畜力や自然エネルギーに比べて生産力は大幅に向上し、石炭の消費量も飛躍的に増大することとなりました。また、石炭が豊富だった英国を中心に産業革命が起こり、文明も一気に発展することとなりました。



④石油による流体革命 (エネルギー革命)

1859年にアメリカで新しい石油採掘方式が開発され、石油の大量生産が可能になると、その利用方法も急速に発展しました。さらには1950年代に中東やアフリカに相次いで大油田が発見され、エネルギーの主役は石炭から石油へと移行しました。これを流体革命 (エネルギー革命) と呼んでいます。大量に安く供給された石油は、さまざまな交通機関、暖房用、火力発電などの燃料として、また石油製品の原料として、その消費量は飛躍的に増えました。



⑤石油に代わるエネルギーの出現

しかし、1970年代の二度のオイルショックは、世界各国でエネルギーが不足するのではないかと懸念されるほど深刻な事態を引き起こし、当時7割を超える石油依存度となっていた日本も石油という単一のエネルギーに頼りすぎるものの危険性を思い知らされました。その経験から原子力や天然ガスなど石油代替エネルギーの導入が進みました。



⑥地球温暖化問題への対応

人口が増加し、経済が発展するにつれ、人類はより多くのエネルギーを消費するようになりました。このエネルギーの大半は石油、天然ガス、石炭といった化石燃料を利用することから、これらの燃料によりエネルギーを得る段階で非常に多くの二酸化炭素が大気中に放出されることになりました。大気中に含まれる二酸化炭素などの「温室効果ガス」の濃度が増加し、地球の大気圏から放出される熱の量が減少すると地球上に熱が留まります。この結果、気温が上昇することによって気候が変動し、生態系に大きな影響を及ぼすことが懸念されるようになりました。



第4章

そして未来へ

※ P. 30の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教 材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・パプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～



2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは…？

- 1 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？ まずは自由に話し合ってみましょう。



東日本大震災写真保存プロジェクト

- 2 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P. 30～31の資料を見て、どんなことを感じますか？
- 3 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』(→P. 31)の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？



日本はどうなっていきたいでしょう？



みなさんの住む地域はどうなっていきたいでしょう？



日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？



そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- 4 それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- 5 さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24 力国/地域

+ **5** 機関

派遣された人数

1,200 名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約 **84** 億

5,000 万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163 力国/地域

+ **43** 国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126 力国/地域

国際機関

総額 **175** 億円以上

(11月1日現在)



モロッコ

4月11日、アル・ホセイマ(2004年大地震があり日本も援助)の小学生8人が被災した子どもを励ますとともに日本への感謝を込めた絵をユニセフ事務所に託しました。



アイルランド

自宅前の道にテーブルを出して被災地支援のためクッキーを売る子どもたち



アメリカ

4月4日～8日、イリノイ州シャンバーグ市のドゥーリー小学校が募金活動週間「Hands on Japan」を行いました。手形のバナーの作成や支援を訴えて歩くイベント「Walk for Japan」を実施しました。



アメリカレスキューチームが、宿营地としていた小学校の卒業式に参加しました。



ウガンダ

多数の閣僚、政府関係者、市民等から様々なお見舞いが寄せられています。



ベトナム

3月31日、ハノイ・アカデミー・スクール校長、生徒が生徒のつくった手形集や生徒が祈りをささげている風景を収めた写真を日本大使館に託しました。



グアテマラ

サッカー場で草の根の募金運動が行われ、サッカー観戦の市民が募金に応じました。



カタール

日本の子どもたちへの応援のメッセージを込めた絵です。



カザフスタン

3月18日、Miras学校生徒が共同制作したお見舞いの寄せ書きが大使館に届けられました。



トンガ

5月5日、パオトゥ小学校の校長、生徒5名などが日本大使館を訪問し、義捐金を託しました。

※ ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。



外務省ウェブサイト「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」『世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)』

心が温くなるメール ～『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より～

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan (日本のために祈る)」という投稿が届きました。

そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。

そうしたメッセージやエピソードは『日本の財産である』と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう!」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたいらしい。“日本人でしょう? 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。”国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしてくちゃ。



誰かに頑張って欲しいと願うなら、100回『頑張れ』と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



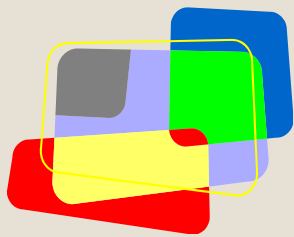
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 資 料



目で見えるカタール



1971年にイギリスから独立して正式に国旗として制定される前からこの国旗は使用されてきました。元は赤い色でしたが、太陽光で変色し、1949年に公式に現在の色になりました。ギザギザの模様は9つあり、独立当時の土侯国の数を表しています（現在は7土侯国です）。

● 人口 ● (2009年)

 1,409,000人



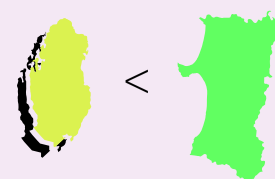
 127,156,000人



● 面積 ●

 11,427km²
(秋田県よりもやや狭い)

 377,947km²



● 気候帯 ●



夏季中は灼熱となる
冬季夜間は冷え込みが激しく
まとまった雨量がある

● 宗教 ●

イスラム教

● 民族 ●

アラブ人

● 通貨 ●



カタール・リヤル

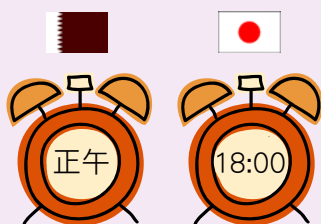
● 言語 ●



アラビア語

● 日本との時差 ●

−6時間



● 平均気温 ●

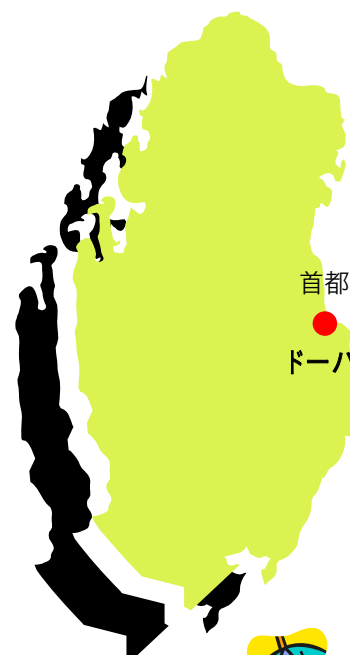


ドーハ 名古屋
29.7°C 16.6°C

● 年間降水量 ●



ドーハ 名古屋
10.2mm 1,730mm



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』刈安望編著 (平凡社) ◆面積・首都・宗教・民族・言語・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆人口:世界子供白書2011(ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 ◆気候帯:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆平均気温・年間降水量:Qatar Statistic Authority ウェブサイト「Environmental Statistics」(ドーハ国際空港2010年のデータより作成) ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「ポケット情報あいちー土地・気象、人口、農林漁業、事業所」(平成22年) ◆日本との時差:「世界の国一覧表 2007年版」(財団法人世界の動き社)

● 主要産業 ●

石油 天然ガス



● 日本との
貿易主要品目 ●



石油 LNG 石油化学製品



自動車 電気機器 機械 鉄鋼

● 一人あたりのGNI ● (2009年)

12,196米ドル以上

\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$

37,870米ドル

\$



● 5歳未満児の死亡者数
(出生1000人あたり) ● (2009年)

11人



3人



● 人口増加率
(2000～2009年) ●



10.3%

0.0%



● 在留邦人数 ●

1,219人 (2010年10月)



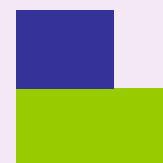
● 在日当該国人数 ●

14人 (2010年 法務省 外国人登録者数)

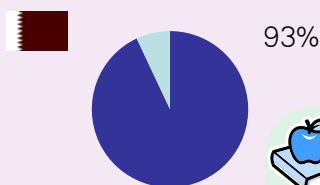
● 出生時の平均余命
(2009年) ●

76年

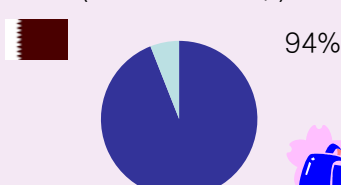
83年



● 成人の総識字率
(2005～2008年) ●



● 初等教育
純就学/出席率
(2005～2009年) ●



● 都市人口の比率
(2009年) ●

96%

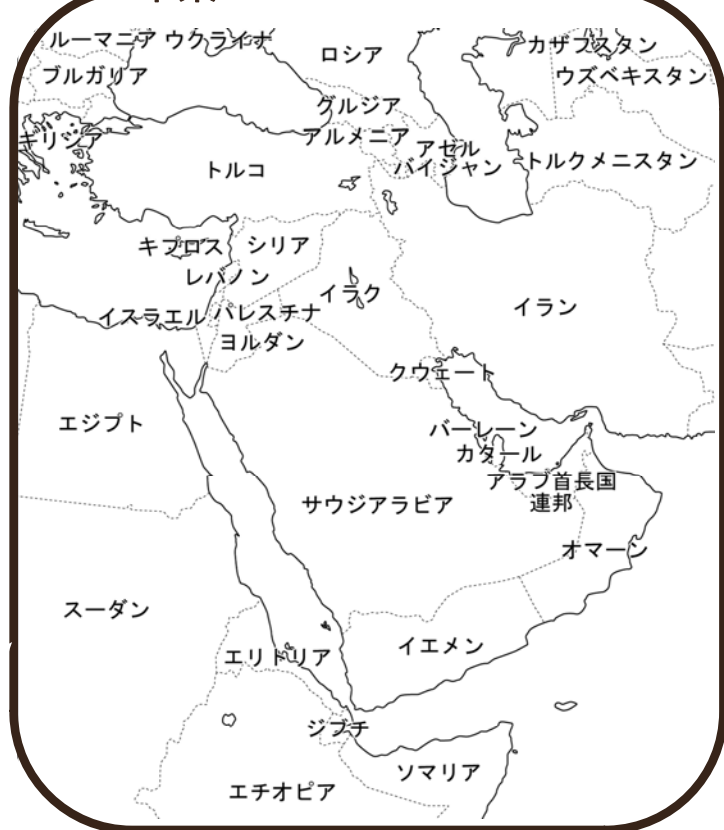
67%

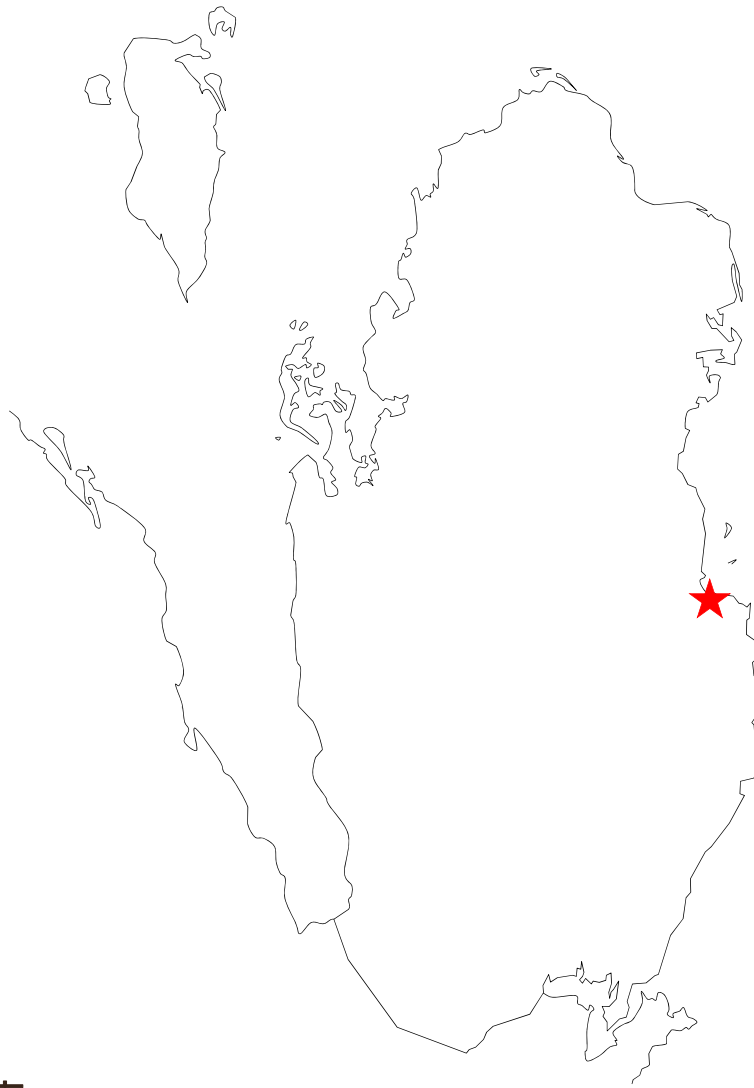


カタール地図



中東





中東





参考文献・データ等の出典

- 外務省ウェブサイト
「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>
「世界各地での支援の様子 (フォトギャラリー)」
http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/
「カタール国」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/qatar/>
「世界の学校を見てみよう カタール国」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/world/kuni/0201qatar.html>
- 総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 資源エネルギー庁「エネルギー白書2011」
<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/hakusho/2011/index.htm>
- カタール友好交流 (知多市市民活動推進課)
http://www.city.chita.aichi.jp/seikatsukankyoku/simin/qatar/qatar_top.html
- 世界保健機関 (WHO)「世界保健統計2011」
- 総務省「世界の統計2011」 <http://www.stat.go.jp/data/sekai/index.htm>
- 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 カタール国 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



